日本共産党あきる野市委員会発行

あきる野民報

発行責任者/松平重幸　TEL＆FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2008.7.13　No.490（毎月２回発行）

え～っ　私が裁判をするの～？

新「裁判員制度」で学習会

国民救援会秋流支部

一般の国民が裁判に参加する「裁判員制度」が来年の五月から実施されます。

しかしこの制度の内容が知らされていません。

国民救援会秋川流域支部が「勉強会」を開催

六月二十一日ルピアで開催された「勉強会」には講師として三多摩法律事務所の弁護士、橋詰穣さんが参加、「勉強会」をリードしました。

用意した机が一杯になる三十数名が参加、講師の話に熱心に聞き入り、質問・意見が活発に出されました。

十人の真犯人を逃すとも一人の無実者を罰するな

橋詰氏は刑事裁判の原則として「十人の真犯人を逃すとも一人の無実者を処罰するなかれ」と話し、冤罪を防ぐための諸制度を説明。

そのうえで今度の裁判員制度は、基本的に死刑或いは無期の重大事件を対象としていること。

有権者から無作為で選ばれた六人の裁判員が裁判官三人と共に参加・評議し、結論は多数決で決める。そのため公判前整理手続きが行われ、公判は連続開廷三日間ぐらいで判決を出すといいます。

橋詰氏＝「問題だらけの制度と言える」

橋詰氏が言うには、裁判員制度は、「専門家でない国民の常識を裁判に反映をする」ものとうたっていますが、実際は刑事裁判の原則からの逆行が目立つとして、

❶公判前整理手続きの導入により、後から証拠を出すことができないし、連続開廷により証人尋問の調書もできておらず、正確な評議ができないという証拠裁判主義の後退。

❷公判前整理手続きで事前に検察官のストーリーが頭に入った状態で公判を迎えるという予断排除の原則の形骸化などをあげて、構造的に冤罪の危険が高まるし、被告人や国民の権利が縮小される、問題点だらけの制度だと指摘。

特に「疑わしきは、被告人の利益に」などが守られるか、極めて心配と強調しました。

疑問・問題点浮き彫りなのに

来年5月から実施

他人事でない！

絵手紙／寺門静子さん・雨間在住

あばらしき こどもぐらし

たばた　あずみ

専業主婦なので、こどもとは出来る限り長く一緒に過ごそうと思っていました。

１人目がちいさい頃はほとんど活動もしていなかったので、４歳で幼児園に入るまで、毎日外に出てよく遊びました。２人目は人見知りが強く、かあさんと一緒にいられれば会議でもいいというタイプだったので、様々な活動に連れ歩き、人見知りも落ち着いた４歳から入園。ここまでほぼ予定通りの子育て。そして３人目。外が好き、人が好き。わたしは忙しくなり、こどもは不満、私は罪悪感でお互いイライラ。胃が痛くなるほど悩んだ末、３歳直前に民間の保育園に入れました。

結果は、正解でした。わたしも活動に集中できるし、なによりこどもがしっかり遊べて満足げ。一緒にいる時間が短い分、大切に過ごすようになりました。こどもを大切に思っていれば、いろんな「こどもぐらし」でいいのですね。（08.7.13）

連絡先は☎550-6674

野良望

青梅の近藤瑞枝さんが急逝した。「お別れする会」が六月二十八日にあり参加した。日本共産党員として六十二年間、名実共に一点の曇りもなく党と共に全力で闘い抜いた生涯であった▼最初は若き女性党員として、教師として、市議会議員として、そして民主文学の作者として常に党と歩んだ。亡くなった日は、党の支部会議に雑ぜご飯をつくり、みんなにふるまい、その直後に身体の異変を訴えたという。正に亡くなる寸前まで党と共に居た▼いま世界ではラテンアメリカなどで新しい社会主義への模索が発展し、日本では日本共産党員作家小林多喜二の「蟹工船」がブームを呼んでいる。マルクスは極貧のなかで苦闘し、多喜二も権力によって虐殺された。先覚者達の死闘、苦闘がいま花開きつつある時代の到来と言えるのかも知れない▼日本共産党員として範を示した近藤瑞枝さん。貴方の意思をしっかりと受け継ぎます。安らかにお休み下さい。（松）

「温泉問題を考える会」が市民集会を開催

8月3日(日) 午後2時～4時

ルピア3F 情報研修室

事務監査請求を求めた「瀬音の湯」が開業して一年。発表された「事業報告書」の問題点と思われる事項の追加資料の開示を求め、さらに二回市の商工観光課との交渉経過などを報告。広く市民のみなさんとともに今後の活動について議論していきましょう。

南部後援会がマイクロバスで見学会

築地市場
戦・震災資料センター

七月五日、あきる野南部後援会でバス学習ツアーを行いました。

午前中、勝関橋・築地場外市場・築地本願寺を廻り、市場移転反対の看板に石原都政の暴走を見ました。

午後は、東京大空襲・震災資料センターへ。

小学二年で東京大空襲を体験された二瓶治代さんの体験談を聞きました。「人間が紙屑のように焼けて真っ黒のなっていった……」の言葉が忘れられません。焼夷弾は無差別殺人兵器であることを今さらのように確認し、有意義な日を過ごせました。

事務局長・平澤源司

東地区後援会総会のお知らせ

■7月27日(日) pm2時～

■たつみの館（森さん宅☎559-1617）

①総会（運動方針……他）

②懇親会（総会後、2時を予定）

③バザー（出品にご協力を）

詳細は清水・片野坂・一戸へ……

川柳

民主党法案出して審議拒否　西川昇

世界遺産らくがき描いて恥を掻く　西川昇

アメリカになぜ断れない原子空母　松籟坊

消費税大企業に触れず庶民から　松籟坊

「憲法まもれ」――新たな出発にむけて㉗

「価値の根本は人間である」…

雨間在住　増田忠治

国民の強い反対を押し切って4月から強行された後期高齢者医療制度」について、政府は自らの考え方の基本を次のような三点に要約し（今ではすっかり有名になったが）、後期高齢者の心身の特性として、(1)老化に伴う治療の長期化と複数の慢性疾患が見られる。(2)多くの高齢者に程度の差はあれ、認知症が見られる。(3)後期高齢者はこの制度の中でいずれ避けることのできない死を迎える。故に、お年寄りが今後ますます増えて国の財政が大変になるのでなるべく早く死んでいただきたいと言い放っているのである。

驚くべき人間蔑視ではないか。人間全体を蔑視するものではないか。

この世に些かでも経済的価値を生み出せない人間（例えば、老若を問わず寝たきりの病人で草一本むしれないような人、あるいは、植物状態で病床にある人など）は生存を続けるに値いしないと政府は言うのであろうか。

果して、この考えは正しいのか（或いは〝やむを得ないか〟）。

私も断固とした反論が構築出来ずに幾人かにこの問いをぶつけて見た。

ある人は人の存在を「尊厳」と言い、ある人は「存在意義」と答えた（…難しいなァ…）。

実践的な答は『村長ありき――沢内村深沢晟雄の生涯』（及川和男著）の中にあった。沢内村は一九六二年、全国に先駆けて、60才以上と乳児の医療費を無料にした村として余りにも有名である。（この時、岩手県では国保5割給付）。

この深沢村長は「価値の根本は人間である」という自らの確固とした哲学と憲法25条に基づき、この施策を断行したのである。

これらの施策によって沢内村は豪雪・多病・貧困の三悪を乗り切って行ったのである。

歴史探訪 第70回 地名考・油平①

JR・秋川駅

油平は旧秋川市のほぼ中央に位置し、北はJR秋川駅、南は福徳寺で牛沼を境としています。東西はそれより短く、あきる野市の大字の中でも面積で小さい方と云えます。南北に滝山街道、東西に睦橋通りが貫いています。

秋川駅南の一帯の小字を嵯峨窪と呼んでいますが、京都の嵯峨野と同様に優雅な響きです。「サガ」は「サカシ」で険しい事を現しますので窪地のある険しい土地であったのでしょう。この嵯峨窪の南側に「秋川駅前運動広場」があって市民の運動場として利用されています。中の一部に油平クラブハウスもあり、私達もよく利用しています。

このグラウンドが元は草競馬場であったと初めて…聞いた時は、私も驚きました。競馬場がいつ頃できたか記録がなく分からないそうですが、最後のレースは一九四一年（昭十六）、十二レースで一五〇頭が参加したと云いますから、大変な賑わいであったと想像できます。一五七四年（天正二）に書かれた佐久間文書には、野辺・雨間・牛沼・渕上と秋川沿いの村々が列記されていますが、油平は書かれていません。

という事はこの時期に、油平村が成立していなかった事を意味します。

（続く）草花木崎秀治

俳句

裏庭の菖蒲に雨の日のつづく　（やす子）

梅雨晴間かどめかどめの子らの声　（照代）

雨止んで薄日の中の田植かな　（和恵）

蚕飼の具記憶に母の糸ぐるま　（かほる）

ソーランを踊る少年大漁旗　（つや）

薩摩ゆく田植すむ日の青さかな　（静子）

田植すみ緑の風となりにけり　（るり子）

草笛のやっとなりたすお下げ髪　（淑子）

父の日に贈る帽子や家族の手　（勝代）

用水の流るる音や田植済み　（忠治）

一匹をやうやく掬ひ子の金魚　（秀治）